

消化管(胃、食道、大腸) 透視検査



消化管（食道、胃、大腸）造影検査

- 消化管の形態、粘膜の病変、他器官の病変による圧迫、通過障害などの診断のための検査です。
- 胃や食道の検査では造影剤（バリウム等）を飲んでいただきます。大腸検査の場合は肛門に管を留置しそこから注入します。体を回転させたり、台を傾けたりして様々な角度から写真を撮っていきます。



食道の造影画像だよ



こっちは胃の画像だよ



バリウムなどを使用した
消化管の検査だよ



これは大腸の画像さ



大腸全体の画像です

L
L-DEC



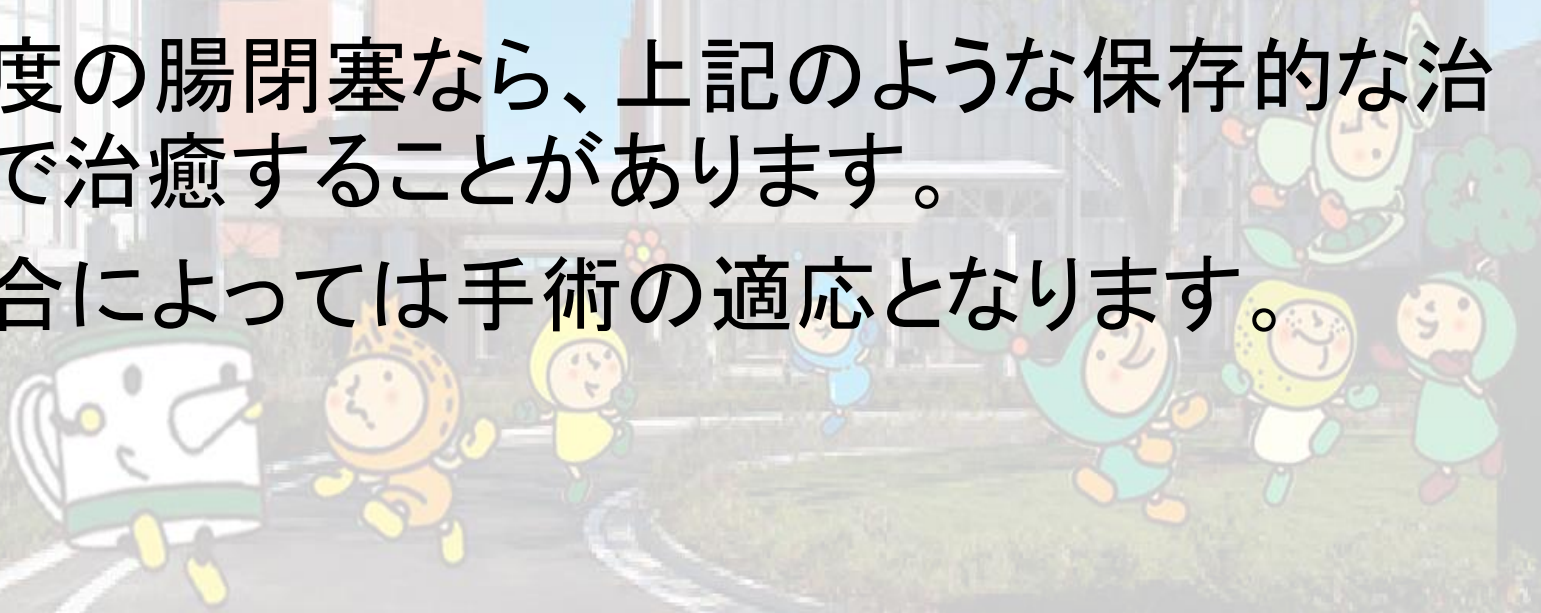
イレウス管

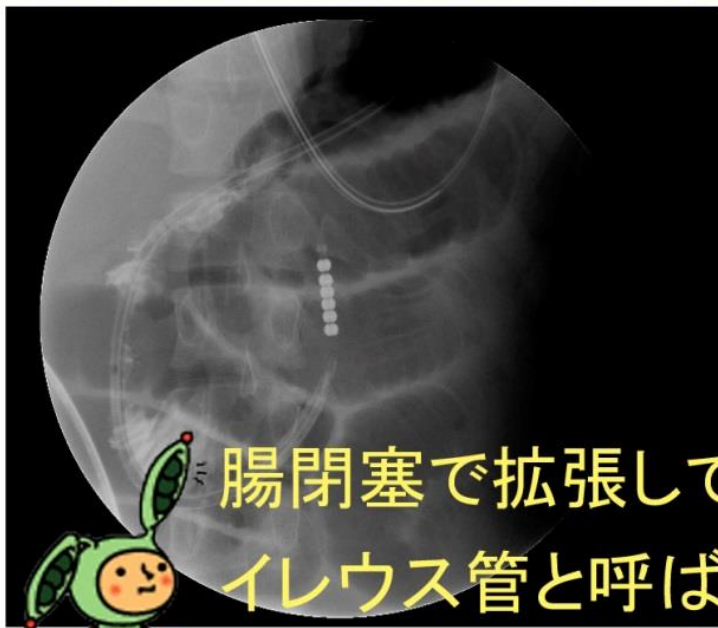
- 腸閉塞になると腸の運搬機能や吸収機能が低下しているのでガスが下から出て行かず、腹痛、嘔吐、腹部膨満などの症状が出現します。
- 腸内に溜まった内容物を吸引して、腸管内の減圧を行うのがイレウス管の目的です。



検査方法

- 鼻からイレウス管（吸引チューブ）を挿入し、胃を通して小腸まで進めたら固定します。
- 減圧した後にイレウス管から造影剤を注入し、腸をX線で撮影することで閉塞部位の診断も出来ます。
- 軽度の腸閉塞なら、上記のような保存的な治療で治癒することがあります。
- 場合によっては手術の適応となります。





腸閉塞で拡張してしまった腸を治すのに
イレウス管と呼ばれるチューブを鼻から入れて
腸の内部を減圧していくよ

